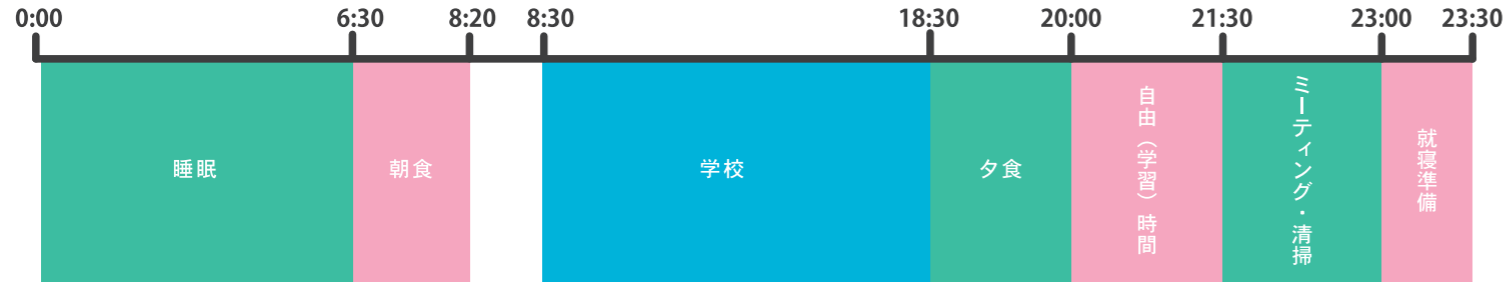


寮生のスケジュール（平日）



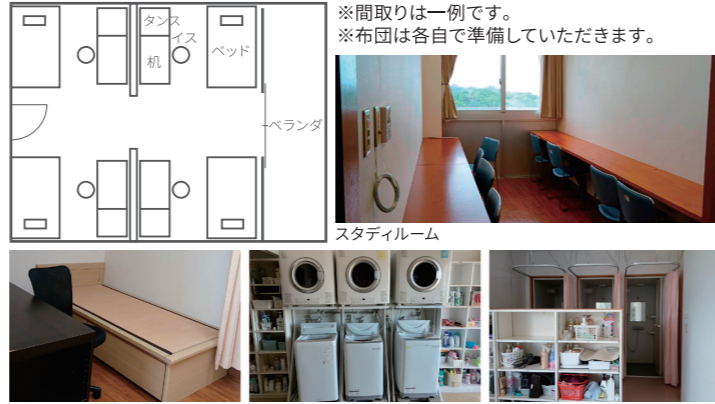
- ・Aクラス選択の場合は早朝 7:30～講座あり（火・水）
- ・学校まで徒歩約 20 分、自転車約 10 分
- ・授業は 1～6 校時（火曜日のみ 7 校時）
- ・男女各フロアに自習室（スタディールームを設置）

食事



食事は決まった時間に 1 階の食堂で提供されます。専門の栄養士がつき、寮生の健康を第一に考えたメニューで毎日の食生活をサポートしています。平日のお昼はお弁当を配達しております。

施設



全ての部屋が 4 人用となっています。個室はカーテンで仕切れます。シャワールーム、洗濯機、乾燥機を 3 つずつ設置

感染症対策

- 感染予防と流行拡大防止のため、寮内対策として以下の対応を行っております。
- ・手指用の消毒液（アルコール消毒）
 - ・手洗いうがい
 - ・検温

寮 久米島町地域支援交流学習センター じんぶん館

久米島高校に通う離島留学生のための町営寮です。館長とハウスマスター、舎監（居住する生徒の生活指導、監督、安全管理を行う職員）が、寮生たちの島暮らしをサポートしています。

〒901-3124
沖縄県島尻郡久米島町字仲泊 1134
TEL：098-851-7721

費用	
2026 年 4 月現在	
施設使用料	24,000 円/月
食費	34,751 円/月※1
合計	58,751 円/月
(別途入寮費)	10,000 円

※1：1ヶ月 31 日の場合
※費用は変更となる場合があります



塾 久米島学習センター

高校生対象の町営塾です。大学進学対策や授業の補習、テスト対策など、進路や習熟度に合わせた個別指導を行っています。

〒901-3121
沖縄県島尻郡久米島町字嘉手苅 530
番ほんのもり 1 階

費用(教材費)	
1～3 年生	3,000 円/月

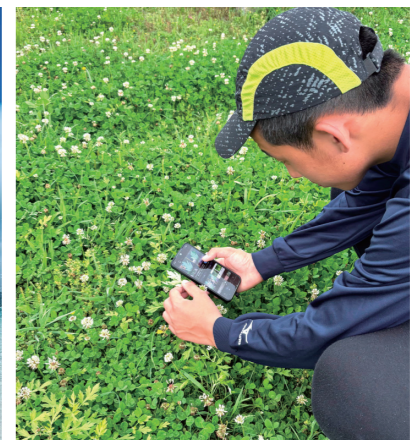
開室	
曜日	月曜日～金曜日
時間	13:00～21:00

※曜日・時間は各自で調整可能
※21 時締寮の場合は迎えがありません



久米島町は『久米島高校魅力化プロジェクト』を通じて、久米島高校の教育と生徒の挑戦を支援しています。高校・寮・塾について詳しくはこちらから

久米島高校 魅力化



久米島町地域支援交流
学習センター

じんぶん館

自ら探し、選び、決断する



感性や表現を育む “伝統と文化”

三線や組踊（歌舞劇）、島太鼓といった沖縄ならではの習い事が島にはたくさんあります。それらを通じて新たに自分を表現したり、角力（沖縄相撲）、ハーリー（豊漁と航海の安全祈願のボートレース）やエイサー（先祖様を供養し送り出す盆踊り）といった伝統行事に参加することで、古来から続いている久米島ならではの文化を感じることができます。



あたたかく見守ってくれ “地域の人たち”

入寮時、寮生一人ひとりに対して島での親代わりとなる「島親（しまおや）」が紹介されます。留学生を支える「島親」の存在は欠かせません。親元を離れた生徒にとって、日々の相談相手として心の拠り所にもなります。休日に自宅に招待し、地域の行事やイベントへ繋いでくださったり、留学生は豊かな人間性を育むことができます。



島だからこそ味わえる “休日の過ごし方”

休日はそれぞれが時間の使い方を自ら考え、自由に過ごしています。部活動や久米島ならではの地域活動に参加する生徒もいれば、島親と過ごしたり、友達と釣りや海遊びに行く生徒もいます。寮生主体のイベントも行っています。

寮生の声

小林 凜さん



久米島で農業研究を行う中で、多くの方々の協力を心から感謝しています。自分の挑戦に対して、いつも温かく手を差し伸べて応援してくれる地域の人々の優しさで温もりこそが、久米島が持つ最大の魅力だと実感しています。

加藤 留果さん



「やりたい!」という気持ちさえあれば、何でも挑戦できる島です。あと、島の人たちがとても温かく、ここだからこそできる経験がたくさんあります。毎日が新しい発見の連続で、自分自身の成長にもつながっています。

辻田 依さん



私は沖縄県久米島町のエメラルドグリーンの海に憧れて来ました。寮生とも海や星、ホテルを見に行ったり自然に触れる機会がとても多いです。また、学校の友達や地域の人々ともフレンドリーで接しやすいです!ぜひ来て下さいね!!

山田 心悟さん



寮生活は、何から何まで自分でやらないといけなくて、今までこなしていたものにプラスで洗濯、掃除、金銭管理等が増えて、とても大変です。これまで年代しかなかった交友関係関係が、島ではおじいちゃん世代から小学生まで幅広い年代へと広がりました。



一人ひとりを尊重した “個別サポート”

じんぶん館にはハウスマスターが常駐し、寮生の日々の悩みや相談に寄り添います。必要に応じて学校や保護者、島親とのやり取りを行い、寮生にとって一番適切なサポートを行っていきます。



自分から考え他者と協力する “協同生活”

寮則をしっかり守り、共同生活を通して、他者への配慮や相手を思いやる気持ちを育み多様な価値観にふれ成長していくことができます。居心地がよく充実した寮生活を過ごすために、自立し、自ら考え提案し、他者の意見を取り入れながら共に創りあげていく経験を積むことができます。



挑戦を繰り返す “実践からの学び”

島一周・産業祭りへの出店や BBQ など、寮生主体イベントが豊富です。地域の方々やハウスマスターに相談し、寮生同士で助け合いながらイベントを成功させる経験を通じ、寮生一人一人が大きく成長できる環境が整っています。



身体で感じる “自然環境”

久米島には青い海や山などの美しい景観のほか、クメジマボタルをはじめとする貴重な生物が数多く生息しています。これらの自然を満喫できることはもちろん、ホテル館やウミガメ館などの施設で行われている活動に加わることで、環境保全に貢献しながら生態系の大切さを肌で感じることもできます。